

イーストスプリング 米国高利回り社債オープン

追加型投信／海外／債券

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として米国の高利回り社債に実質的に投資することにより、高い金利収入の確保とともに証券の値上り益を追求し信託財産の成長を図ることを目指した運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

作成対象期間 2018年7月11日～2019年1月10日

第186期 2018年8月10日決算 第189期 2018年11月12日決算

第187期 2018年9月10日決算 第190期 2018年12月10日決算

第188期 2018年10月10日決算 第191期 2019年1月10日決算

日経新聞掲載名：米高利回

第191期末	基準価額	5,971円
	純資産総額	21,950百万円
第186期～ 第191期	騰落率	－1.6%
	分配金合計	120円

(注)騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<http://www.eastspring.co.jp/>

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

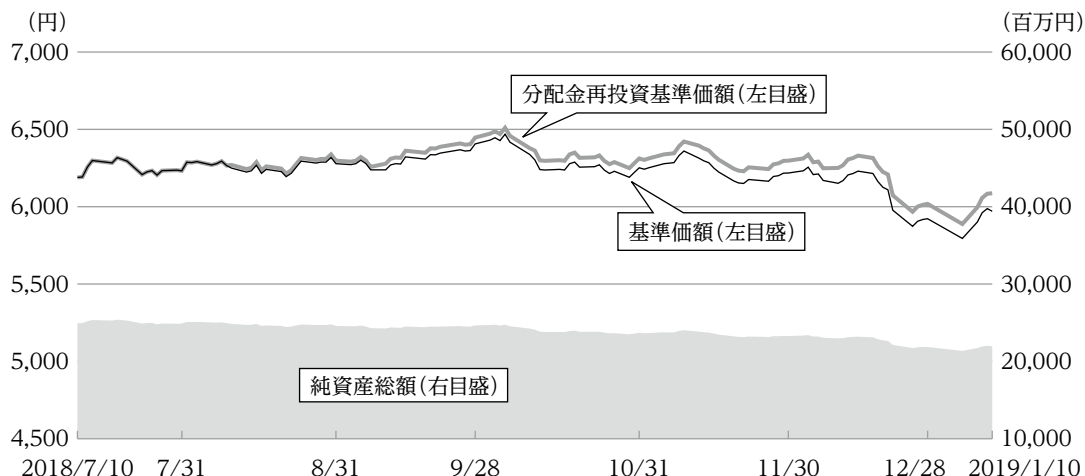
＜運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法＞

ホームページにアクセス ⇒ 「ファンド情報」を選択 ⇒ ファンド名を選択 ⇒ 「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書(全体版)」を選択

運用経過

基準価額等の推移について

(2018年7月11日～2019年1月10日)



第186期首	6,189円
第191期末	5,971円 (既払分配金120円)
騰 落 率	－1.6% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は下落しました。

下落要因

- ・高利回り社債の利回りが上昇（債券価格は下落）したこと。
- ・円高ドル安が進行したこと。

1 万口当たりの費用明細

(2018年7月11日～2019年1月10日)

項目	第186期～第191期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	56円	0.898%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、6,218円です。
(投信会社)	(29)	(0.463)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(24)	(0.381)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.054)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	1	0.014	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.009)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他 1)	(0)	(0.000)	信託管理事務に係る手数料
(その他)	(0)	(0.000)	余資運用に係る費用（マイナス金利相当額）
合計	57	0.912	

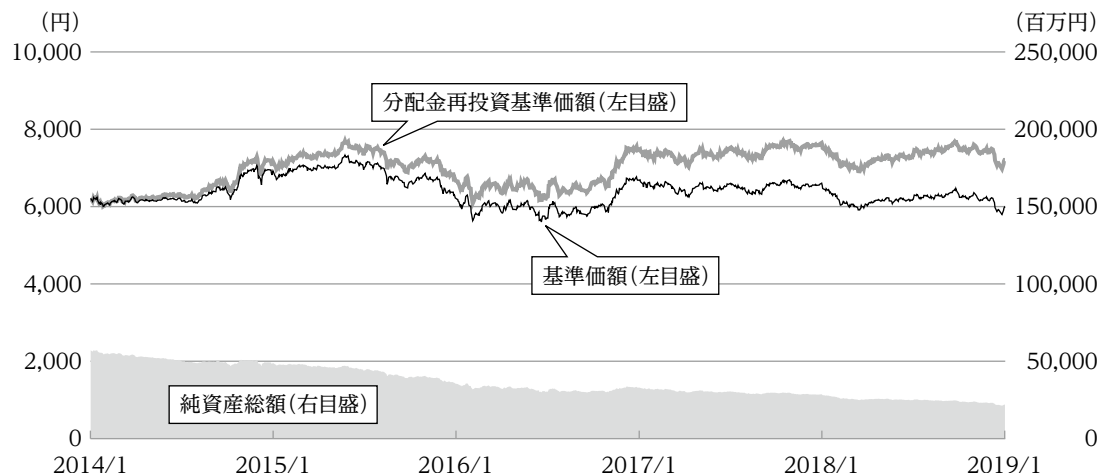
(注1) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

最近5年間の基準価額等の推移について (2014年1月10日～2019年1月10日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2014年1月10日の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

決算日	2014/1/10	2015/1/13	2016/1/12	2017/1/10	2018/1/10	2019/1/10
基準価額 (円)	6,215	6,801	6,189	6,684	6,543	5,971
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	240	240	240	240	240
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	13.6	-5.8	12.4	1.6	-5.1
純資産総額 (百万円)	57,109	48,080	35,360	32,977	28,393	21,950

*当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

米国高利回り社債市場

当作成期初から2018年10月初旬まで、株高や原油高などを背景に米国債利回りが上昇する中で社債スプレッドは縮小し、米国高利回り社債市場は狭い値幅ながら堅調（利回りは低下）に推移しました。しかし、その後は米国経済指標が好調だったことや米連邦準備制度理事会（FRB）パウエル議長の「現在の政策金利は中立金利から程遠い」との発言がFRBの積極的な金融引き締め姿勢と受け止められたことから、金利上昇を嫌気して株式市場は下落に転じ、景気後退懸念が高まり米国高利回り社債市場は下落しました。その後も、原油価格が需給の緩み観測から下落傾向となったこともあり、2019年初めまで続落しました。当作成期末にかけては、パウエル議長が金融政策正常化の見直しに言及するなど金融緩和姿勢を示したことから市場センチメントが改善し社債スプレッドは縮小、米国高利回り社債市場は回復傾向となりました。

為替市場

当作成期は円高ドル安となりました。

当作成期初から2018年8月中旬にかけては、米トルコ関係の悪化によるトルコリラ急落などを背景にリスク回避姿勢が強まり円高となりました。しかし、その後は10月初めにかけて、良好な米国景気を受けて株高となるなど世界的にリスク選好の動きが強まり、円安ドル高となりました。しかし、10月初めのパウエル議長のタカ派発言をきっかけに、米国株が急落し始めると、一転してリスク回避姿勢が強まり、円高ドル安となりました。2019年初めには、一時1米ドル104円台まで円高が進みましたが、当作成期末にかけては堅調な米国雇用統計の結果やパウエル議長の発言を受けて、リスク回避姿勢が和らぎ、1米ドル108円台まで回復しました。

ポートフォリオについて

当ファンド

イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の高利回り社債に投資しました。

イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド

主として米国の高利回り社債に投資するこ

とにより、高い金利収入の確保とともに証券の値上り益の獲得を目指した運用を行いました。クレジット・アナリスト・チームによる徹底した個別銘柄の調査・分析とバリュエーションを重視するとともに、業種や個別銘柄の分散に配慮した銘柄選択およびポートフォリオ構築を行いました。セクター別ではヘルスケア、公益などがプラスとなった一方で、エネルギー、基礎産業などはマイナスとなりました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきました。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

項目	第186期	第187期	第188期	第189期	第190期	第191期
	2018年7月11日 ～2018年8月10日	2018年8月11日 ～2018年9月10日	2018年9月11日 ～2018年10月10日	2018年10月11日 ～2018年11月12日	2018年11月13日 ～2018年12月10日	2018年12月11日 ～2019年1月10日
当期分配金 (円)	20	20	20	20	20	20
(対基準価額比率) (%)	0.319	0.320	0.316	0.316	0.324	0.334
当期の収益 (円)	20	20	20	20	18	19
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	1	0
翌期繰越分配対象額 (円)	405	406	412	416	416	416

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

当ファンド

引き続きイーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド受益証券を組み入れることにより、信託財産の成長を図ることを目指します。

イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド

2019年の米国高利回り社債については、米国の経済成長の鈍化が予想される中でも底堅い展開になるとみています。税制改革法による大型減税の効果が低下するにつれて、経済や企業収益のある程度の減速は予想されますが、依然として消費は堅調を維持すると考えています。足元の高利回り社債の利回りは相対的に高く、市場参加者にとって魅力的な投

資対象となっています。また、高利回り社債発行企業の財務状況は健全であり、世界金融危機が起こった2008年のような不均衡は見られません。デフォルトレートも過去平均を下回り、今後も低位で推移するとみています。需給に関しては、2018年は大きな資金流出が見られたことから、2019年は回復傾向になると予想しています。エネルギーセクターは原油価格の低迷を背景に2018年後半大きく下落しましたが、2015-16年の下落時と比較すると、社債発行企業の財務体質は改善しています。市場センチメントが悪化し、優良企業の債券が下落するような局面は投資の好機と考えます。引き続き市場環境を注視し、企業のクレジット分析を徹底して行っていく方針です。

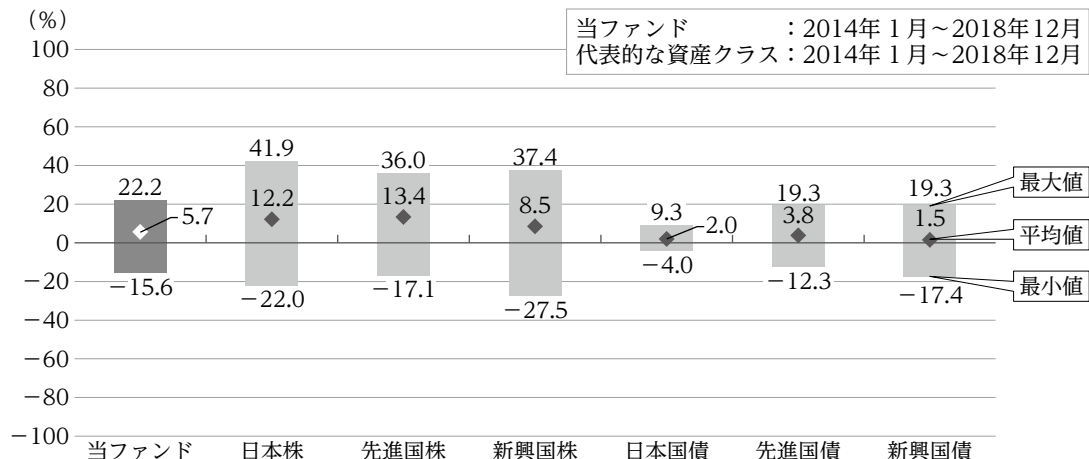
お知らせ

該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2003年1月30日設定）	
運用方針	イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の高利回り社債に投資することにより、高い金利収入の確保とともに証券の値上り益を追求し信託財産の成長を図ることを目指した運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング 米国高利回り社債オープン	イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザー ファンド受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング 米国高利回り社債オープン マザーファンド	米国の高利回り社債を主要投資対象とします。
運用方法	イーストスプリング 米国高利回り社債オープン	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の 10%以内とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	イーストスプリング 米国高利回り社債オープン マザーファンド	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以 内とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時（毎月10日。休業日の場合は翌営業日。）に経費控除後の利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配の対象とし、分配金額は基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象金額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。	

(参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※当ファンドと代表的な資産クラスについて、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数 (TOPIX) の商標又は標準に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
新興国債	J.P.モルガンGBI-E Mグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

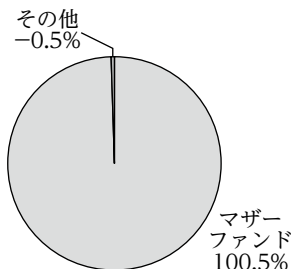
組入ファンド

(組入銘柄数：1 銘柄)

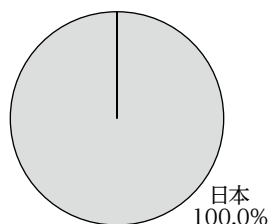
ファンド名	第191期末 2019年1月10日
イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド	100.5%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

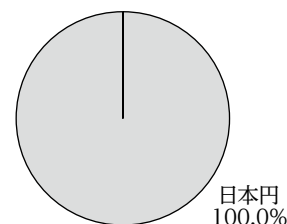
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2)資産別配分において未払金等の発生により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目	第186期末 2018年8月10日	第187期末 2018年9月10日	第188期末 2018年10月10日	第189期末 2018年11月12日	第190期末 2018年12月10日	第191期末 2019年1月10日
純資産総額 (円)	24,845,853,210	24,264,191,534	24,099,056,462	23,856,581,501	22,969,110,534	21,950,442,333
受益権総口数 (口)	39,751,968,017	38,896,117,645	38,231,805,824	37,783,471,629	37,334,553,031	36,764,563,884
1万口当たり基準価額(円)	6,250	6,238	6,303	6,314	6,152	5,971

* 当作成期中 (第186期～第191期) において追加設定元本額は252,630,100円、一部解約元本額は3,792,330,922円です。

組入上位ファンドの概要

<イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド>

基準価額の推移(2017年1月31日～2018年1月29日)

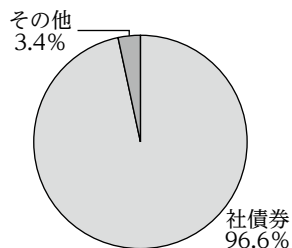


組入上位10銘柄(組入銘柄数：319銘柄)

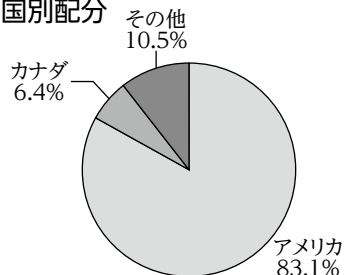
(2018年1月29日現在)

銘柄名	業種	利率	償還日	国・地域	比率
HCA INC	ヘルスケア	5.375%	2025/2/1	アメリカ	2.1%
SPRINT COMMUNICATIONS	通信	7.000%	2020/3/1	アメリカ	1.3%
FREEMPORT-MCMORAN INC	素材	4.550%	2024/11/14	アメリカ	1.2%
CCO HOLDINGS LLC	メディア	5.125%	2023/2/15	アメリカ	1.2%
FIRST DATA CORPORATION	テクノロジー/エレクトロニクス	5.000%	2024/1/15	アメリカ	1.0%
QUAPAW DOWNSTREAM	レジャー	10.500%	2019/7/1	アメリカ	1.0%
AES CORPORATION	公益事業	5.500%	2025/4/15	アメリカ	0.9%
MGM RESORTS	レジャー	7.750%	2022/3/15	アメリカ	0.9%
KB HOME	素材	7.000%	2021/12/15	アメリカ	0.9%
DISH DBS CORPORATION	メディア	6.750%	2021/6/1	アメリカ	0.8%

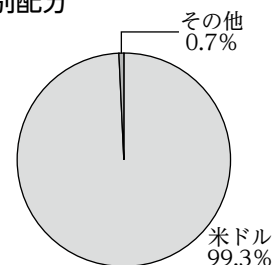
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注)組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

1 万口当たりの費用明細

(2017年1月31日～2018年1月29日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他費用	5円	0.020%	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 期中の平均基準価額は、22,919円です。
(保管費用)	(5)	(0.020)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他1)	(0)	(0.000)	信託管理事務に係る手数料
(その他)	(0)	(0.000)	余資運用に係る費用（マイナス金利相当額）
合計	5	0.020	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。